

■「タンポポを探そう！ー私の春の七草」

日時／平成 26 年 3 月

場所／大阪城公園 天候／晴れ

スタッフ／10 名

参加者／大人 5 名 子供 3 人 合計 8 名

観察内容／晴天に恵まれ、多くの花見客で賑わう中での観察会となりました。

まずは、音楽堂周辺で草花の観察。セイヨウタンポポとアカミタンポポの花と瘦果の両方が見られました。また、タンポポとよく似たオニタビラコやハルノゲシも観察。カタバミの葉で 10 円硬貨を磨いたところ、子供たちは喜び、お母さんはカタバミをクローバーだと思っていたとの感想。ついでにシロツメクサとコメツブツメクサも見てもらいました。さらに、キュウリグサを揉んでその匂いも嗅いでもらいました。草花の観察をしている時に、カラスが飛んできて、何か大きなものを木の根元に投げ、嘴で葉っぱをパッパッパと掛けました。カラスが飛び去るのを待って、木の根元を探したところ、落葉の下に大きなパンが隠されていました。それにしても巧妙に隠しており、カラスがちゃんと覚えていられるのか心配になるほどでした。

次に、公園管理事務所脇へ。例年、イヌノフグリが見られるのですが、フラサバソウが大繁殖しており、今年は見つけることはできませんでした。ここには、ラクウショウの果実が沢山落ちていたので、その香りも嗅いでもらいました。

鳥見の小径では、シロバナタンポポの観察。綿毛をつけたものもあり、外来種タンポポの瘦果との比較をしました。



階段を上った公園にはカンサイタンポポが多数咲いていました。そこで、外来種タンポポとカンサイタンポポの小花の数を比べたところ、カンサイタンポポ 57 に対して外来種タンポポは 151 と 3 倍近い差があり、参加者はびっくり。

最後に、ピース大阪の「にの森」に移動。春の七草にちなんで、草花を 7 種類

集めて台紙に貼り付けてもらいました。外来種タンポポ、オニタビラコ、ハコベ、オランダミミナグサ、キュウリグサ、ヒメオドリコソウ、カラスノエンドウ、スズメノエンドウ、カスマグサ、スズメノヤリなどを見つけて「私の春の七草」を完成させてくれました。最後に、完成した作品を各自が発表して、小川さんが持参した春の七草のホットケノザであるコオニタビラコも観察して解散しました。

